

# 全 国 一 般 長野地方労組情報

## アルピコ自動車学校分会

### 闘争情報（その2）

2月8日の第6回団体交渉では、勝英で問題になった大船自校について会社の見解を聞きましたが、「過去の問題であり、解決済みである。また、今回の事案とは関係ない」と主張し、事業譲渡締結前であるため、労働条件は提示できないとしました。

同じ週の10日に県労働委員会のあっせんが行われましたが、協定に至るにはまだ時間が必要、と委員会が判断したため継続となりました。

週が変わり、13日に第2弾のビラ配布を39名の組合員が参加し底冷えする中、松本駅前にて行いました。約1100名の方に受取っていただきました。この日の夕方のSBCニュースでビラ配布の様子が放映されました。



2/13 ビラ配布

次に団体交渉が行われたのは15日。その中で会社は、勝英は債務超過ではないこと、基本合意は昨年中に結んでいること、大船自校の裁判等については公表されていること以外は調べることはできない、と回答しました。組合から言われて経営方針を変えるのは嫌なのか、極めて不誠実な回答でした。

アルピコ闘争開始当初からお世話になっている自治労松本市職労の取り計らいにより、21日の松本市議会でアルピコ問題を取り上げていただけたことになりました。

2012年度 No. 6

2012年3月8日

全国一般長野地方労働組合  
長野市県町532-3県労働会館内  
Tel 026-235-3218・Fax 026-235-3307

21名が傍聴する中、宮下市議が「受講生に不安の声が聞かれ、労働組合が反発している」などとして市の考えを正しました。「基本的には私企業の問題だが、地域経済への影響も大きい。雇用について今まで以上に注視しつつ、健全経営を期待する」と商工観光部長が答弁しました。

23日に第2回県労働委員会のあっせんが行われました。会社が「事業譲渡」の文言を入れることを固辞したため、あっせんは打ち切られました。会社側の対応にあっせん員も呆れていました。

2月も最終週に入り、27日に第3段のビラ配布を44名の組合員が参加し行いました。この日は松本駅のほか、南松本駅でも行いました。約1000名の方に受取っていただきました。続いて第2弾の事業譲渡反対署名を提出しました。11584名の皆さんにご協力いただきました署名を評議会 亀崎事務局長をはじめ、5名の役員の方と39名の組合員が参加し、提出しました。

その後、闘争支援共闘会議結成総会が開かれ、共闘会議としても強力に支援していくことを確認していただきました。役員は別紙のとおりです。

次回の団体交渉は3月12日に行われます。

今後も、私たちの組織を上げた闘いにご理解を賜りますとともに、絶大なるご支援、ご協力を賜りますよう、心よりここにお願ひ申し上げます。

2/27 反対署名提出



2/27 支援共闘会議結成総会

